

## 人間と生活・社会の理解

科目	生命倫理学				
時間数	1単位 30時間	授業方法	講義・演習	授業時期	1年
講師	①大西美智恵				
実務経験	①保健師・看護師				
ねらい	1. 講義での学びを、実習で体験した具体例を通して理解し、看護学生として倫理的な看護実践を追究することができる。 2. 看護学生のみならず、一生活者としての視点で倫理的な問題を考える態度を醸成する。				
目標	1. 基礎看護実習ⅠおよびⅡで体験した具体例を倫理的視点で振り返ることができる 2. 倫理的事柄を含んだ具体例をグループで話し合うためには、適切な言葉でその内容を表現することや、その事柄の背景について知っておくことの重要性を理解できる 3. 基礎看護実習で体験した倫理的視点での事例発表から、倫理的問題について深く考える機会とすることができる				
回	内 容				
1	倫理を学ぶ意義・倫理を学ぶ目的・倫理学の基本的な考え方				
2	生命倫理とは何か・生命倫理の理論・生命倫理と看護職の責務				
3	看護倫理を学ぶ意義・看護倫理の発展と変遷・看護実践上の倫理に関する主要概念 看護倫理を踏まえた看護実践の特徴				
4	専門職の倫理・専門職の倫理綱領・看護業務基準と倫理・保健師助産師看護師法と倫理				
5	倫理的課題へのアプローチ				
6	生殖の生命倫理				
7	死の生命倫理				
8	先端医療と制度をめぐる生命倫理				
9	実習の体験を倫理的視点でまとめる準備				
10	基礎看護実習Ⅰで体験した具体例を倫理的視点で振り返る				
11					
12	テキストの事例から倫理的視点を学び、基礎看護学実習Ⅱの体験に活かす				
13					
14	基礎看護学実習Ⅱで体験した具体例を倫理的視点で振り返る				
15					
評価方法	基礎看護学実習Ⅰの倫理的体験レポート 30% 基礎看護学実習Ⅱの倫理的体験レポート 70%				
教科書	宮坂道夫他(2024):系統看護学講座 別巻 看護倫理, 医学書院				